

財務諸表論

<本日のスケジュール>

- 19:30~20:00(30分) セミナー
- 20:00~ 質疑応答

※ 19:30になりましたら、セミナーが開始されます。今しばらくお待ちください。

※ 質問は常時受け付けております。「Q&A」ボタンから入力してください。

セミナー内容

- 1 科目の特徴
- 2 本試験の傾向と対策
- 3 8月・9月入学コースの紹介

1 科目の特徴

① 学習内容

「財務諸表」とは会社の利害関係者（株主や銀行）に経営成績や財政状態を開示するために作成される資料のことを言います。

「財務諸表論」は、財務諸表の作成方法やその考え方、ルールを学ぶ学問です。

● 理論の学習

財務諸表論の理論問題では、主に「会計理論」が出題されます。具体的には、

“なぜ減価償却を行う必要があるのか？”

“引当金とは何か？”など、

日商簿記等で学習した会計処理の理論的背景などが出題されます。

したがって、理論の学習においては、会計処理等の考え方を理解していくことが重要となります。

● 計算の学習

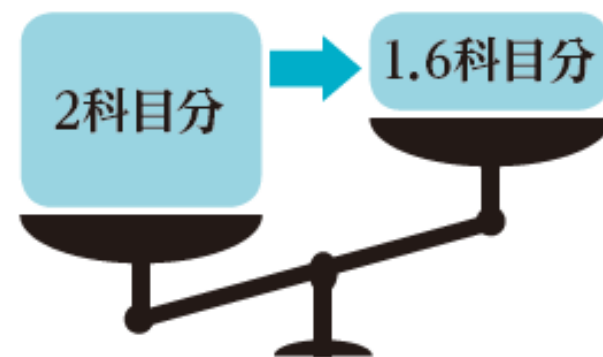
財務諸表論の計算問題では、「会社法」及び「会社計算規則」の規定に準拠した（株主総会提出用の）財務諸表の作成問題が出題されます。

したがって、計算の学習においては「会社法」及び「会社計算規則」に定める様々な約束事（表示区分、表示科目、注記事項など）をマスターしていくことが重要となります。

② 簿記論との同時学習について

簿記論と財務諸表論は同時に学習することで、次のような相乗効果が期待できます。

- ▶ 簿記と財表（計算）は、学習内容が重複
⇒ 学習負担を軽減できる！



- ▶ 簿記と財表の第三問は同じ出題形式
⇒ 簿記で身につけた総合問題の解法を
財表でもそのまま活用できる！

▶同一の論点を多角的に学習

- ・簿記：個々の取引に関する会計処理方法を学習
- ・財表（計算）：財務諸表の表示方法を学習
- ・財表（理論）：会計処理の目的や背景を学習

⇒より強固な知識として記憶に定着！

簿記論と財務諸表論のどちらか一方の学習を検討されている場合は、簿記論の学習をお勧めします。

【参考】「勘定科目」と「表示科目」の違い

簿記論では、帳簿上の科目である「勘定科目」を用いて学習を進めますが、財務諸表論の計算では、外部報告用の貸借対照表や損益計算書に記載する「表示科目」を学習することになります。

「勘定科目」と「表示科目」は基本的に同じですが、中には異なるものもあります。

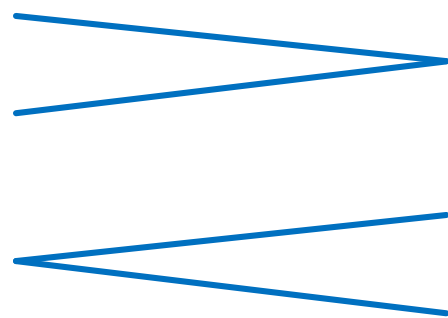
- 「勘定科目」と「表示科目」が異なるもの

< 勘 定 科 目 >

現 金
当 座 預 金
貸 付 金

< 表 示 科 目 >

現金及び預金
短期貸付金
長期貸付金



2 本試験の傾向と対策

① 受験者数・合格者数・合格率の推移

	平成30年 (第68回)	令和元年 (第69回)	令和2年 (第70回)	令和3年 (第71回)	令和4年 (第72回)
受験者数	8,817人	9,268人	8,568人	9,198人	10,118人
合格者数	1,179人	1,753人	1,630人	2,196人	1,502人
合格率	13.4%	18.9%	19.0%	23.9%	14.8%

② 出題傾向・難易度・ボリューム

設問	配点	内容	出題者
第一問	25点	理論	学者試験委員
第二問	25点	理論	学者試験委員
第三問	50点	計算	実務家試験委員

●理論

- ▶会計処理や表示方法の考え方や制度会計上の取扱いに関する穴埋問題、記号選択問題、論述問題などが出題されています。
- ▶出題論点は、企業会計原則などの伝統的なテーマから、金融基準や包括利益表示基準などの新しいテーマまで多岐にわたっています。
- ▶難易度の高い問題が出題される傾向にあります。
合格ラインは年によって若干異なりますが、25点満点で12～16点を概ね推移しています。

● 計算

- ▶ 株主総会等に提出するための財務諸表（貸借対照表及び損益計算書）を作成させる総合問題（決算整理型の総合問題）が出題されており、オーソドックスなものが出題されることが多くなっています。
- ▶ ボリュームもそこまで多くなく、比較的解きやすいレベルの問題が出題される傾向にあります。
合格ラインは、50点満点で35点前後を推移しています。

③ 本試験対策（学習のポイント）

●理論

(1) 言葉に慣れる

財務諸表論の理論問題では、“**会計学独特の言葉や表現**”を用いて答案を作成しなければなりません。

まずは“**会計学独特の言葉や表現**”に慣れるため、通勤・通学の時間などのスキマ時間を利用し、テキスト等の教材に数多く目を通しましょう！

(2) 内容を理解する

理論問題では各論点の“**考え方**”の理解が問われるため、単なる暗記だけでは正確な解答を記述できない場合もあります。

講義での説明をしっかりと聴いた上でテキストも熟読し、各論点の“**考え方**”の理解に努めましょう！

● 計算

本試験では、部分的に難易度の高い問題が出題されることもありますが、“**誰もが得点できる箇所をいかに取りこぼさないか**”が、合否の分かれ目になりますので、闇雲に知識を広げるよりも、基礎的な論点をしっかり固めることが大切です。

基本テキスト



各論点の処理方法を確認

トレーニング



繰り返し解いて、素早く
正確な処理を身につける

間違えた内容は基本テキストで再確認！

3 8月・9月入学コースの紹介

【初学者向けコース】

基礎マスター+上級コース

簿記の学習経験がない方・ 日商簿記3級の学習から期間が空いた方	2023年					2024年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	基礎期					応用期				直前期			
基礎マスター+上級コース 簿記・財表の受講前に 税理士スタート講座の受講が必要になります P21	インプット 簿記 財表 【基礎・応用講義】160分×26回					簿記 財表 【上級講義】160分×20回				簿記 財表 【直前対策講義】160分×9回			
	アウトプット 簿記 財表 【実力テスト】160分×4回					簿記 財表 【上級演習】160分×10回				簿記 財表 【実力完成答練】160分×6回 【直前予想答練】160分×3回			
										合格情報講義<1回>			
										全国公開模試<1回>			
										第74回税理士試験			

<カリキュラム>

基礎期 (8 ～ 12 月)	基礎論点を徹底的にインプット
応用期 (1 ～ 4 月)	講義回で基礎論点の再確認と応用論点の習得、演習回で解答テクニックを習得
直前期 (5 ～ 7 月)	基礎期・応用期の学習項目の総まとめ + 答案練習

3 回転学習カリキュラムで知識をしっかりと定着！

<使用教材>

基礎期 (9～12月)	応用期 (12月～4月)	直前期 (5月～7月)
基本テキスト	上級テキスト	直前対策テキスト
理論テキスト	理論テキスト	答練
トレーニング	上級トレーニング	全国公開模試
ポイントチェック	ポイントチェック	
ミニ・実力テスト	上級演習	

●ここに注目！

理論の学習については、暗記の負担を最小限に抑えて、効率的に学習を進められるように工夫されています。

- 「理論テキスト」では、“文章として暗記しなければならない部分”と“理解中心でよい部分”とを明確に区別しており、理論の暗記負担を軽減しています。
- 「ポイントチェック（コンパクトイサイズの暗記用教材）」では、論述問題のみならず、空欄補充問題や○×問題など本試験の出題傾向に対応した内容も掲載しています。

【受験経験者向けコース】 年内上級講義＋上級コース

2023年				2024年								
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
基礎期・応用期				応用期				直前期				
インプット	簿記 財表 【基礎・応用講義】160分×11回			簿記 財表 【上級講義】160分×20回				簿記 財表 【直前対策講義】160分×9回			合格 情報 講義 (1回)	
	簿記 財表 【実力テスト】160分×4回			簿記 財表 【上級演習】160分×10回				簿記 財表 【実力完成答練】160分×6回 【直前予想答練】160分×3回			全国 公開 模試 (1回)	
アウトプット												

第74回税理士試験

年内上級講義＋上級コースは、受験後の自己採点でボーダーラインを下回り、再受験の可能性が高い受験生を対象に、インプットの不足を補うとともに、知識の再整理を行い、レベルアップを図るコースです。

<カリキュラム>

基礎・応用期 (9～12月)	週1回のペースで学習を進めていき、知識の再整理を行う
応用期 (1～4月)	講義回で基礎論点の再確認と応用論点の習得、演習回で解答テクニックを習得
直前期 (5～7月)	基礎期・応用期の学習項目の総まとめ + 答案練習

<使用教材>

基礎・応用期 (9～12月)	応用期 (1月～4月)	直前期 (5月～7月)
テキスト	上級テキスト	直前対策テキスト
実力テスト	理論テキスト	答練
	上級トレーニング	全国公開模試
	ポイントチェック	
	上級演習	

<このような方にオススメ！>

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで5点程度及ばず、第74回税理士試験に向けて実力維持を図りたい方

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで10点程度及ばず、かつ、これまでの受験指導校での答案練習成績がおおよそ平均点以上であった方

<科目変更制度> ～合格していた場合も安心！～

11月末の合格発表後、一定期間、受講科目・受講コースが変更できる制度をご用意しています。

「年内上級講義＋上級コース」で学習していた科目が11月末の合格発表で合格していた場合も、この制度を利用して12月以降から次の科目の学習に進むことができます。

簿記の学びははじめからスタート!

税理士スタート講座 **無料**

簿記の学習経験がない方や、日商簿記3・2級の学習からブランクがある方は、税理士の学習に必要な簿記3級が学べる「税理士スタート講座」が無料で受講できます。

キャンペーン
対象者

簿記論・財務諸表論・消費税法 いずれかの科目を
「基礎マスター+上級コース」でお申込みの方

※単科生が対象です(期別申込は除く)。本科生・バック生は申込特典(P39 参照)で無料受講できます。
※学習メディアは問いません(資料通信講座を除く)。

税理士スタート講座 P21

キャンペーン期間

2023年

7/14(金)~9/27(水)

[学習メディア]

ビデオブース講座

Web通信講座

通常受講料

※教材費・10%税込

~~¥18,000~~

▶ **¥0**

大学生から税理士受験スタート!

目指せ在学中5科目合格!

U22 割引キャンペーン

会計科目の簿記論・財務諸表論は誰でも受験できるようになりました。この受験資格緩和を受けて、22歳以下の方の早期受験をサポートする特別割引を実施いたします。

[注意] 申込時に23歳の誕生日を迎えていない方が、当割引の対象となります。

●割引対象のプラン ※いずれのプランも一括受講料または分割1年目受講料が割引の対象となります。

5科目
パック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年本科生

2024年・2025年・2026年合格目標

U22 割引 3年本科生

2科目 or
3科目パック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年2科目フリーパック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年3科目フリーパック

令和4年度税理士試験
在学中合格率 **29.8%**※

※令和4年度税理士試験における在学中合格率は29.8%と、全体の合格率(19.5%)を大きく上回っています!

キャンペーン期間

2023年

4/3(月)～9/27(水)

割引プラン受講料などの詳細は、
専用パンフまたはホームページで
ご確認ください。

